

事業名称	「ヤマト・天理の歴史文化をめぐる」プロジェクト		
実行委員会	「ヤマト・天理の歴史文化をめぐる」実行委員会		
中核館	天理大学附属天理参考館		
	住所	〒632-8540 奈良県天理市守目堂町 250	
	TEL	0743-63-8414	FAX 0743-63-7721
	ホームページ	https://www.sankokan.jp/	
構成団体	天理市教育委員会、天理市環境経済部、天理市観光協会、天理大学文学部歴史文化学科、天理大学附属天理参考館		
事業開始時点の課題分析	事業の中核館である天理大学附属天理参考館は、古代ヤマト地域の中心部に所在し、国内外の豊かな内容を誇る博物館として、その特色を活かした事業を展開してきましたが、大学附属の博物館であるため、地域に開かれた社会教育施設としての役割を十分果たし切れていませんでした。中核館は天理市内唯一の博物館でもあり、地域の歴史や文化を発信する基幹的役割を担うことから、地域の関連する団体と連携し、地域の歴史や伝統文化・文化財の学び、保護啓発、観光振興を行うことが館に課せられた課題であると分析しています。		
事業目的	本事業では、中核館の持つ豊かで質の高い教育資源を公的空間や学校教育現場などの博物館外において活用するアウトリーチ事業を促進させ、地域と共働しながら博物館を基点とする様々な取り組みを実施し、地域の持つ文化的力量を醸成していくことを目的とします。また、広く世界や歴史の中に奈良・ヤマト地域を位置づけることで、文化多様性の理解やその持続可能性を強く意識し、社会教育機関としての博物館の特性を活かしながら、地域社会への貢献や学校教育にも資する形での事業を展開していきます。		
事業概要	本事業は、ヤマト・天理地域に訪れる歴史・文化・地域に関心を寄せる広範な世代を対象に、多くの人が利用する天理駅前広場コフンでの公的空間におけるアウトリーチ事業「駅前出前博物館ーミニトーク&ワークショップー」全5回、中核館及び周辺地域の文化遺産・遺跡を起点とする観光振興を意識した歴史ウォーク「大和の中のヤマトー三角縁神獣鏡出土地ー」全3回、学校教育現場への「出前授業」や中核館における「授業支援」、そして中核館において開催される本事業を内容的に支える連続講座「ヤマトの歴史絵巻」全6回を実施。また、アウトリーチ活動における博物館資料の利活用を目的とした「クローン文化財」の作成、子どもを対象とした「教本」の作成、「外国語版リーフレット」の作成、地域の歴史文化遺産を紹介する「日本語版・英語版地図パネル」の作成により、博物館内外における補助的鑑賞・学習教材の充実にも努めます。		
実施項目 ・ 実施体系	<p>(1) 地域文化の発信の核となる美術館・歴史博物館</p> <p><input type="checkbox"/>ア 美術館・歴史博物館の情報発信、相互連携</p> <p><input type="checkbox"/>イ ユニークメニューの促進</p> <p><input type="checkbox"/>ウ 地域のグローバル化拠点としての美術館・歴史博物館</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>エ 地域に存する文化財を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信</p> <p>(2) あらゆる者が参加できるプログラム及び学校教育や地域の文化施設等との連携によるアウトリーチ活動</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ア 小・中・高等学校と連携した地域文化の担い手の育成</p> <p><input type="checkbox"/>イ 大学等と連携した国内外で活躍する文化人材育成プログラムの開発</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ウ 社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施</p> <p><input type="checkbox"/>エ 障がい者の芸術活動支援・鑑賞活動支援等の事業</p> <p>(3) 新たな機能を創造する美術館・歴史博物館</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ア 観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等他分野との連携・融合による活動</p> <p><input type="checkbox"/>イ 文化財の新たな保存管理・活用の手法の開発</p>		
実施後の成果・効果等	「駅前出前博物館」では公的空間である天理市駅前広場コフンにて、学芸員ほかによるミニトークとワークショップを実施。ワークショップでは幅広い年代の方に楽しみながら学んで頂くことができました。「歴史ウォーク」では参加者が回を重ねるごとに増え、東京、神奈川など県外からの参加者もあり、アンケートからも100%近い満足度を得ることでできました。「連続講座」の第5回・第6回では定員100名を超え、また、アンケートでは約8割が県内の参加者であることから、地元の歴史に対する関心に応える講座となりました。「授業支援」では、本事業にて作成、配布した「教本」を児童が持参してくれ、授業では学芸員の問いかけに積極的に発言するなど、学習意欲の向上につながることができました。自己負担にて作成したクローン文化財「三角縁神獣鏡」「海獣葡萄鏡」および中核館所蔵の銅鐸のレプリカなどを携えての「出前事業」では、「見たり、さわったりするのは貴重な体験でうれしかったです」等、児童の感想文を通して、実際に触れることの感動がよく伝わり、出前授業の効果を確認することができました。このほか、これまでなかったフランス語・スペイン語のリーフレットを作成。市内各所へ配布し、グローバル化への環境整備と多様化するインバウンドへの対応ができるようになりました。さらに、中核館1階エントランスホールの無料スペースに、「山の辺の道」と周辺遺跡を紹介するパネルを英語版とともに展示し、観光客やハイカー、インバウンドに向けた地域の案内板としての役割を果たしています。		

【事業実績】

1. ヤマト地域周辺の文化遺産を学ぶ

連続講座「ヤマトの歴史絵巻」全6回の実施 ・会場:天理大学附属天理参考館研修室 ・参加者:のべ614名

- 【第1回】9月7日(金) 「描かれた喪葬船」講師:石田大輔(天理市教育委員会文化財課係長)／参加者60名
【第2回】10月19日(金)「馬匹文化と天理の埴輪」講師:野島稔(四條畷市立歴史民俗資料館館長)／参加者91名
【第3回】11月9日(金) 「銅鏡の秘めた謎」講師:小山田宏一(奈良大学教授)／参加者86名
【第4回】12月14日(金)「ワニ氏のお膝元」講師:池田保信(天理市観光協会理事)／参加者111名
【第5回】1月11日(金) 「上ツ道の成立を巡って」講師:北口聡人(天理市教育委員会文化財課主査)／参加者116名
【第6回】3月1日(金) 「内山永久寺はなぜなくなったのか」講師:幡鎌一弘(天理大学文学部歴史文化学学科教授)／参加者150名
*マスコミ等の報道結果:【第6回】天理時報(第4611号)、読売新聞奈良版(2019.3.12)、天理市 Facebook

2. 公的空間における地域と共働したアウトリーチ活動

「駅前出前博物館ーミニトーク&ワークショップー」全5回の実施

・会場:天理駅前広場コフン南団体待合所 ・参加者・参観者のべ322名

- 【第1回】8月12日(日)◇ミニトーク「バーチャル山の辺の道ガイド」講師:天理市山の辺の道ボランティアガイドの会／参加者43名◇ワークショップ「たぬきの糸車と糸つむぎ」講師:梅田正之(H.A.M.A.木綿庵)／参加者14名、参観者13名
【第2回】9月23日(日・祝)◇ミニトーク「古代の装身具」講師:藤原郁代(学芸員)／参加者27名◇ワークショップ「古代の首飾りを作ろう!」講師:藤原郁代／参加者27名、参観者8名
【第3回】10月14日(日)◇ミニトーク「遣唐使の見た古代の服装」講師:青木智史(学芸員)／参加者23名◇ワークショップ「世界の民族衣装を着てみよう!」講師:中尾徳仁(学芸員)／参加者20名
【第4回】11月11日(日)◇ミニトーク「近鉄天理線の歴史」講師:乾誠二(学芸員)／参加者37名◇ワークショップ「硬券キップを切ってみよう!」講師:乾誠二／参加者19名、参観者13名
【第5回】12月9日(日)◇ミニトーク「古代の祈りー土で作られた祈りの道具ー」講師:日野宏(学芸員)／参加者39名◇ワークショップ「はにわと土の人形を作ってみよう!」講師:日野宏／参加者39名



駅前出前博物館【第1回】ミニトーク

フランス語・スペイン語リーフレットの作成、配布

各言語1,200部作成。天理大学附属天理参考館、天理市産業振興館、天理市iセンター、天理大学に配置・配布

中核館周辺の地域文化遺産解説パネル(日本語版)・(英語版)の作成、掲示各パネルを天理大学附属天理参考館に掲示

3. ヤマト地域の歴史文化遺産と関連遺産をめぐる

歴史ウォーク「大和の中のヤマトー三角縁神獣鏡出土地ー」全3回の実施

- 【第1回】9月15日(土)「ヤマト王権の奥津城・黒塚古墳周辺」講師:宇野隆志(橿原考古学研究所主任)／参加者30名
【第2回】11月17日(土)「ヤマト王権と紫金山古墳」講師:廣瀬時習(近つ飛鳥博物館総括学芸員)／参加者27名
【第3回】2月16日(土)「ヤマト王権と椿井大塚山古墳」講師:肥後弘幸(木津川市文化財保護課課長)／参加者55名

4. 歴史文化遺産をテーマにした学校教育との連携企画

中核館における周辺小学校と連携した授業支援の実施 ・会場:天理大学附属天理参考館・授業者:幡鎌真理(学芸員)

2月20日(水):天理小学校3年生3クラス100名を対象に社会科小単元「昔の道具とくらし」授業支援を実施

2月27日(水):天理市立丹波市小学校3年生1クラス33名を対象に社会科小単元「昔の道具とくらし」授業支援を実施

中核館の収蔵品を活用した子ども用教本の作成、配布

『子どものための歴史文化遺産読本 天理参考館 世界探検! 今と昔』5,000部作成。天理市内10小学校の児童・教職員へ配布

*マスコミ等の報道結果:読売新聞奈良版(2019.1.29)、朝日新聞奈良版(2019.2.6)、天理市 Facebook

周辺小学校へ学芸員を派遣して行う出前授業の実施

11月14日(水):天理市立丹波市小学校6年生1クラス41名を対象に「天理の歴史に触れてみよう」の出前授業を実施

授業者:青木智史(学芸員)／指導助言:藪内善史(天理市教育委員会まなび推進課指導主事)

2月12日(火):天理小学校6年生3クラス88名を対象に「天理の歴史に触れてみよう」の出前授業を実施

授業者:日野宏(学芸員)

クローン文化財「三角縁神獣鏡」・「海獣葡萄鏡」(自己資金にて)作成、活用

天理市・黒塚古墳出土の「三角縁神獣鏡」ならびに天理市・柚之内火葬墓出土の「海獣葡萄鏡」の青銅材料および配合を再現して復元品を作成。上記の出前授業において触れる教材として活用。

